

第 38 回あいち学童保育研究集会レポート

【クラブ】（あそびばクラブ） 【名前】（島田歩実） 【立場】（保護者 or 指導員）

① 午後に参加した分科会の名称をお書きください。

第（3）分科会 名称（学童保育カンファレンス）

※午前の全体会のみに参加した場合は、全体会講演の名称をお書きください。

②全体会講演や分科会に参加して、心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

全体会では、現在の学童保育の現状とその現状に伴う課題を知ることができました。「全国の学童保育所の数も入所している子どもの数も増え続けている」と仰っていました。このお言葉をお聞きして、学童保育所の役割が、“安全にお預かりする”という部分だけではなくてきてきていることをとても感じました。今年度のあそびばクラブのある1年生のご家庭の家庭カードに、“自宅以外の安心できる居場所ができたらいいな”というように書かれていました。まさしく学童保育に求められている部分は、“子どもたちにとっても保護者の方にとっても、安心できる居場所として常にあり続けること”であるのかなと思いました。「あと10年くらいは学童保育所や入所児童数が増え続けるだろう」というように仰っていましたが、それより先はどうなっていくのだろう、学童保育は求めてもらえるのだろうか…と少し不安な気持ちになりました。10年よりもっと先にも学童保育がずっと求め続けてもらえる、安心できる居場所であり続けられるように、今私たち指導員ができることを日々力を尽くして努力していかなければと感じました。

大島さんのお話とても学ばせて頂きました。お話をお聞きする中で、大島さんがのびのびと明るくお話をいらっしゃる姿がとても印象的でした。さらに印象的だったことは、競技用義足との出会いのお話をされていらした時のお言葉です。「自信がないからやめておく、と友達と言ったことに衝撃だった。1ミリも自信がないと思わなかった。これをはいたらどれだけ速く走れるのだろうかという好奇心しかなかった」と仰っていました。“自信がないと1ミリも思わなかった”ってすごいなあと心から尊敬の気持ちになりました。私はどちらかというとなにか新しいことに踏み出す時には特に不安になってしまう人間なので、どうやったら大島さんのようなお考えになれるのだろうか私も衝撃でした。でもお話をお聞きしているうちに少しヒントが見えてきたような気がしました。1つ目は、「知らないこと、やったことのない未知の世界にもどんどん自分から飛び込んでいくこと」だと感じました。「どうせ自分は無理だから…」ではなくて、「やってみたい!」「もっと知りたい!」と好奇心や挑戦しようとする姿勢をもって何事にも取り組んでいくことってとっても大切なのだなと改めて感じました。なぜなら、自分で世界を広げているからです。世界が広がると、出会いも増え、自分の引き出しや知識も増え、自分自身も豊かになると思います。私も様々なことに積極的に挑戦をしていって、その経験を通して、何か子どもたちに少しでも力になればいいなと感じました。のび太くんが困っている時に、いつもドラえもんはすぐにポケットからその困りごとに合った道具を出して、のび太くんを助けてあげています。力になってあげています。私も、積極的に様々な経験をしていくことで自分の引き出しをひとつでも多く増やし、目の前の子どもたちの、その時その時の様子をよく見て、その子にとってその場面における最善

の引き出しを提供し、少しでも力になれるようにしていきたいというイメージをもちました。2つ目は、「いろいろな方との出会いを大切にされていること」だと感じました。引き出しを増やしていくにしても、自分ひとりの力では限界な部分も出てくると思います。人とのつながりはやっぱり生きていく上で必要不可欠なのだと思います。だからこそ、「挨拶をしっかりとる」「人にイヤな気持ちをさせない」というようなことを毎日積み重ねていかなければと感じました。子どもに教えていく、と仰っていたのですが、まずは私自身が日頃から意識をしてこれらの姿を実践し、その姿を見せていけるようにしていこうと思います。

分科会では、今回私の現場の子ども、虎太郎くんのことについて皆さんとご一緒に考えて頂きました。研究集会での報告ということで、非常に緊張をしたのですが、皆さんからたくさん学ばせて頂きました。とても貴重なありがたい経験をさせて頂き、感謝しております。ありがとうございます。「みんな平等、みんな大事、と子どもたちが実感できれば、人の弱さも受け止められるようになる」「平等ではないように見えてしまっていたのなら、ごめんね、気を付けるねと反省をして謝ることも大切」というお言葉が特に心に残っています。今回のカンファレンスを通して、虎太郎くんは私に対して「平等ではないように見えるぞ」というサインを出して教えてくれていたのだなととても反省しました。子どもたちから学ばせて頂いているということを絶対に忘れてはいけないと感じました。そして、自分の保育は、子どもたちが全て「それはいいんじゃない」「それは間違ってると思うぞ」と全部示してくれているのだなとも感じました。子どもたちから気付かせてもらい、学ばせて頂き、良くなかった部分はしっかり反省して、次に繋げていけるように受け止め、どうしていくべきなのかを考えていきます。そして私も、子どもたちと共に、少しずつでも成長していくことができるようにこれからも学び続けていこうと思います。

※このレポートは、参加されたすべての保護者と指導員にご提出をお願いしています。

※文字数の制限はありません。この用紙に手書きでもかまいませんし、データでお送りいただいてもかまいません。

※×切は 3/21（月）です。指導員に手渡し、または、こちらのアドレス okazakigakudou@yahoo.co.jp にお送りください。

※ご提出されたレポートは、当会のホームページや岡崎がくどうの会だより「よりどころ」に掲載する予定です。